

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 カラカミ観光株式会社

コード番号 9794 URL <http://www.karakami-kankou.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 達哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 西村 孝孔

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

TEL 011-598-3225

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,108	△19.8	△351	—	△446	—	△554	—
21年3月期第1四半期	5,121	—	△203	—	△321	—	△235	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△64.01	—
21年3月期第1四半期	△27.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	43,063	7,275	16.3	809.88
21年3月期	43,349	7,778	17.3	866.72

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,012百万円 21年3月期 7,504百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,300	△12.3	370	△27.7	120	△40.0	60	—	6.92
通期	20,000	△9.0	600	17.6	200	—	100	—	11.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	8,670,080株	21年3月期	8,670,080株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	11,788株	21年3月期	11,788株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	8,658,292株	21年3月期第1四半期	8,659,276株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、国際協調での金融緩和や財政出動により底入れに向かいつつありますが、金融危機の影響持続により、回復力は弱く、輸出企業を中心とした生産活動の停滞、設備投資の減少が続いております。個人消費においても石油製品価格の下落がみられ、また定額給付金の交付、住宅ローン減税拡充などの国内経済対策の実施がなされていますが、雇用、所得環境の弱さから厳しい状況が続いております。

当社グループの主要営業基盤である道内経済は製造業生産の一部に底入れの動きが見られますが、個人消費など道内民間需要が低迷し、先行きも停滞が続くとみられます。

このような環境の中、観光業界におきましては、景気の低迷に加え、新型インフルエンザの影響による旅行や出張の手控えから引き続き厳しい状態にあります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、宿泊客数実績では332千人（前年同四半期比19.2%減）となり、営業収益は4,108百万円（同19.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

(1) 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は43,063百万円となり、前連結会計年度末比286百万円の減少となりました。

その主な要因は大型の設備投資がなく、減価償却により有形固定資産が前連結会計年度末比397百万円の減少となりました。また、投資有価証券については時価評価等により前連結会計年度末比102百万円の増加となりました。

(2) 負債

流動及び固定負債は長期借入金の調達等により前連結会計年度末比217百万円の増加となりました。

(3) 純資産

純資産は四半期純損失を計上したこと等により、前連結会計年度末比503百万円減少となり、自己資本比率は16.3%と前連結会計年度末より1.0ポイント減少しました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は3,540百万円となり、前連結会計年度末と比較して95百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は525百万円の支出（前年同四半期連結会計期間は856百万円の支出）となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純損失が515百万円となったこと及び仕入債務の減少が143百万円、未払金の減少が330百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は72百万円の支出（前年同四半期連結会計期間は91百万円の収入）となりました。

主な要因は、定期預金の預け入れによる支出15百万円、有形・無形の固定資産取得の支出61百万円によるものであります。収入においては投資有価証券の売却が4百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は692百万円の収入（前年同四半期連結会計期間は31百万円の収入）となりました。

主な要因は、短期及び長期の借入により4,600百万円を調達したことによるものであります。なお、今回の資金調達の大半の目的はリファイナンスのため、長期借入金の返済また社債の償還において3,898百万円の支出をしております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね予定どおりに推移しており、平成21年5月20日付（平成21年3月期決算短信）にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,649,582	3,539,726
売掛金	664,880	668,093
商品	88,787	88,039
原材料及び貯蔵品	101,206	110,966
繰延税金資産	63,268	82,895
未収法人税等	48,324	47,868
その他	154,726	189,938
貸倒引当金	△3,612	△2,392
流動資産合計	4,767,162	4,725,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	72,277,974	72,277,088
減価償却累計額及び減損損失累計額	△47,451,539	△47,060,697
建物及び構築物(純額)	24,826,434	25,216,390
機械装置及び運搬具	685,032	684,809
減価償却累計額及び減損損失累計額	△637,176	△637,724
機械装置及び運搬具(純額)	47,856	47,084
土地	10,367,674	10,367,674
その他	4,257,491	4,234,539
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,766,225	△3,735,025
その他(純額)	491,266	499,513
有形固定資産合計	35,733,231	36,130,664
無形固定資産		
のれん	602,355	611,718
その他	226,570	232,545
無形固定資産合計	828,925	844,264
投資その他の資産		
投資有価証券	1,492,422	1,390,569
繰延税金資産	21,590	21,586
破産更生債権等	19,858	19,858
その他	168,855	184,239
貸倒引当金	△32,058	△33,119
投資その他の資産合計	1,670,667	1,583,133
固定資産合計	38,232,824	38,558,061
繰延資産		
社債発行費	62,980	65,379
繰延資産合計	62,980	65,379
資産合計	43,062,967	43,348,578

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	677,256	820,140
短期借入金	3,150,000	2,950,000
1年内償還予定の社債	1,771,000	1,821,000
1年内返済予定の長期借入金	3,232,800	6,135,450
未払金	1,242,246	1,605,848
未払法人税等	23,926	40,268
未払消費税等	80,468	64,334
繰延税金負債	983	651
役員賞与引当金	6,090	21,000
その他	336,573	344,800
流動負債合計	10,521,344	13,803,492
固定負債		
社債	3,393,500	3,393,500
長期借入金	20,573,638	17,119,098
繰延税金負債	421,379	380,069
退職給付引当金	470,912	464,716
負ののれん	54,021	55,406
長期預り保証金	352,412	353,812
その他	270	270
固定負債合計	25,266,133	21,766,873
負債合計	35,787,478	35,570,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,454,940	2,454,940
資本剰余金	2,182,984	2,182,984
利益剰余金	2,282,795	2,836,996
自己株式	△11,241	△11,241
株主資本合計	6,909,478	7,463,679
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,688	40,713
評価・換算差額等合計	102,688	40,713
少数株主持分	263,321	273,818
純資産合計	7,275,488	7,778,212
負債純資産合計	43,062,967	43,348,578

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益	5,120,817	4,107,916
営業費用	5,323,324	4,459,146
営業損失(△)	△202,507	△351,229
営業外収益		
受取利息	197	79
受取配当金	21,008	21,617
受取地代家賃	25,114	22,055
負ののれん償却額	1,385	1,385
その他	20,187	24,679
営業外収益合計	67,893	69,816
営業外費用		
支払利息	174,323	154,113
社債発行費償却	2,590	2,399
その他	9,800	8,396
営業外費用合計	186,714	164,909
経常損失(△)	△321,328	△446,322
特別利益		
投資有価証券売却益	35,965	1,672
その他	1,126	—
特別利益合計	37,091	1,672
特別損失		
固定資産除却損	4,090	159
投資有価証券売却損	1,464	—
たな卸資産評価損	25,006	—
借入金繰上返済損失	—	68,742
その他	2,525	980
特別損失合計	33,086	69,881
税金等調整前四半期純損失(△)	△317,323	△514,531
法人税、住民税及び事業税	27,282	21,160
過年度法人税等	15,452	—
法人税等調整額	△120,601	19,256
法人税等合計	△77,867	40,417
少数株主損失(△)	△4,332	△747
四半期純損失(△)	△235,123	△554,201

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△317,323	△514,531
減価償却費	482,695	430,860
のれん償却額	7,977	7,977
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,742	159
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,525	6,195
賞与引当金の増減額(△は減少)	△106,768	△75,322
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,250	△14,910
受取利息及び受取配当金	△21,205	△21,696
支払利息	174,323	154,113
社債発行費償却	2,590	2,399
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,500	△1,672
投資有価証券評価損益(△は益)	0	—
有形固定資産除却損	4,090	159
売上債権の増減額(△は増加)	△369,769	3,212
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,764	9,012
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,575	△142,883
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,616	16,133
その他の資産・負債の増減額	△223,164	△256,530
小計	△612,514	△397,321
利息及び配当金の受取額	21,300	21,618
利息の支払額	△156,463	△111,815
法人税等の支払額	△107,884	△37,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	△855,563	△525,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△15,000
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△64,540	△42,826
投資有価証券の売却による収入	77,191	3,804
貸付金の回収による収入	1,840	156
無形固定資産の取得による支出	△22,249	△17,941
有形固定資産の除却による支出	△1,048	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,193	△71,806
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入れによる収入	700,000	4,400,000
長期借入金の返済による支出	△892,509	△3,848,110
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△180	—
配当金の支払額	△216,484	—
少数株主への配当金の支払額	△9,750	△9,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,076	692,140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△733,292	94,855
現金及び現金同等物の期首残高	4,516,251	3,444,726
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,782,959	3,539,582

(4) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、前連結会計年度において、多額の当期純損失を計上したことに伴う純資産の大幅な減少により、当社グループが借入しているシンジケートローンの財務制限条項の一部に抵触しました。当第1四半期連結会計期間末現在におきましても、シンジケートローン14,782百万円について財務制限条項の一部に抵触しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、以下の通り対応しております。

1. 収益力の強化

当社グループは、引き続き景気低迷が続くものと予想し、人件費、広告宣伝費、燃料費等の削減を行うとともに、仕入部を新設し、料飲材料費を中心としたコスト削減を徹底し、売上減少に耐えうる収益構造に変えるべく努力しております。その結果、営業費用を前年同期比864百万円削減しております。また、営業面につきましては、ホームページの充実等インターネット販売の強化、法人・団体営業の強化、リピーター客への営業強化を実施しております。また、平成21年4月に東京営業所、大阪営業所を新設し、道外客の道内への誘致等、集客を強化し、売上の回復に注力しております。

2. 資金繰りの見通し

シンジケートローンにつきましては、平成21年8月末を目途に、契約条件を変更すべく金融機関と交渉中であります。資金繰りにつきましては、当第1四半期連結会計期間末現在、現金及び預金残高は3,650百万円であり、当面十分な資金を確保しております。また、主要金融機関からの支援も得られる見通しにあります。

しかし、これらの対応策について金融機関の最終的な意思表示が行われていないため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	観光ホテル 事業 (千円)	ビジネスホ テル事業 (千円)	スポーツ施 設運営事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,073,520	972,814	49,317	25,164	5,120,817	—	5,120,817
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	140	5,130	—	5,279	(5,279)	—
計	4,073,528	972,955	54,447	25,164	5,126,096	(5,279)	5,120,817
営業利益又は営業損失(△)	△401,182	189,185	△2,708	4,308	△210,397	7,890	△202,507

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	観光ホテル 事業 (千円)	ビジネスホ テル事業 (千円)	スポーツ施 設運営事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,178,257	862,860	41,650	25,148	4,107,916	—	4,107,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7	50	5,036	—	5,094	(5,094)	—
計	3,178,264	862,910	46,686	25,148	4,113,011	(5,094)	4,107,916
営業利益又は営業損失(△)	△479,095	121,735	△4,807	4,310	△357,857	6,628	△351,229

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理（関係会社管理）上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の運営会社

事業区分	運営会社
観光ホテル事業	当社、(株)東北カラカミ観光、(株)洞爺サンパレス、(株)古賀乃井、(株)ニュー阿寒ホテル、(株)洞爺パークホテル、(株)川久、(株)ホテルエメラルド、(株)阿寒ビューホテル
ビジネスホテル事業	当社、(株)マックスパート、(株)川久
スポーツ施設運営事業	サンシャインビル(株)
レストラン事業	(株)羊ヶ丘展望園

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. 生産、受注及び販売の状況

当社グループは主としてホテル事業を営んでいるため、生産、受注及び販売の状況については、事業の種類別セグメントごとに、部門別の販売実績及び宿泊客数実績を記載しております。

① 販売実績

当第1四半期連結累計期間の営業収益を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
		金額 (千円)	前年同期比 (%)
観光ホテル 事業	定山溪ビューホテル	691,932	△24.3
	洞爺サンパレス	411,897	△33.9
	ホテル瑞鳳	382,078	△2.3
	秋保グランドホテル	297,037	△6.5
	ニュー阿寒ホテル	264,717	△15.7
	洞爺パークホテル天翔	257,267	△28.3
	ホテル古賀の井	207,679	△11.2
	ホテル川久	200,449	△30.4
	コガノイベイホテル	197,174	△22.3
	ホテルエメラルド	137,150	△18.7
	白浜シーサイドホテル	130,503	△10.4
	本社	369	△24.8
	小計	3,178,257	△22.0
ビジネスホテル 事業	晴海グランドホテル	381,378	△13.2
	ホテルコスモスクエア国際交流 センター	337,238	△10.2
	川崎グランドホテル	144,243	△8.6
	小計	862,860	△11.3
スポーツ施設運 営事業	サンシャインスポーツクラブ	41,650	△15.5
	小計	41,650	△15.5
レストラン 事業	羊ヶ丘展望園	25,148	△0.1
	小計	25,148	△0.1
	合計	4,107,916	△19.8

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 宿泊客数実績

当第1四半期連結会計期間の宿泊客数実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称		当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
		人数(人)	前年同期比(%)
観光ホテル 事業	定山溪ビューホテル	66,682	△23.1
	洞爺サンパレス	39,969	△34.2
	ホテル瑞鳳	23,422	3.5
	秋保グランドホテル	23,865	△4.1
	ニュー阿寒ホテル	29,074	△14.3
	洞爺パークホテル天翔	27,252	△28.1
	ホテル古賀の井	13,112	△9.6
	ホテル川久	6,207	△33.1
	コガノイベイホテル	9,383	△22.0
	ホテルエメラルド	17,059	△11.3
	白浜シーサイドホテル	12,591	△10.0
	小計	268,616	△22.3
ビジネスホテル 事業	晴海グランドホテル	27,133	△0.7
	ホテルコスモスクエア国際交流 センター	28,088	△6.4
	川崎グランドホテル	8,290	△0.4
	小計	63,511	△3.3
合計		332,127	△19.2